

5
2017

三重病院

ニュースレター

news letter vol.213



- 01 おチンチンの皮がむけない!
- 02 三重病院へようこそ! ~新規採用者紹介~
「やまばとギャラリー」情報コーナー
5病棟の生活のひとコマ²⁴
- 03 ごあいさつ
三重病院のサラメシ¹¹
医療安全川柳(5月)
アレルギー教室のクッキング
- 04 外来からのお知らせ
外来診察のご案内

おチンチンの皮がむけない!

「『お風呂で体を洗うとき、おチンチンは、皮をむいて洗わないといけない』と言われてけど、うちの子はむくことができません、どうしたらいいのでしょうか?」という質問を受けることがよくあります。

その答えは、「むいて洗う必要はありません、おチンチンの先の皮を洗うだけで十分です。」また、むけないこと自体を心配される親御さんもおられますが、少なくとも医学的には問題ありません。厳密にいうと尿路感染や性病感染との関連や、本人やパートナーの発癌頻度など全く関係なくはないですが、これらも対応は可能で、少なくとも衛生環境のいい日本においては問題ないといえます。

小児のおチンチン(=陰茎^{いんせい})は、ふつう先端まで包皮^{ほうひ}という皮でおおわれており、この包皮をむく(翻転^{ほんてん})と中にオシッコが出てくる穴がある亀頭^{こぶし}という部分が見えてきます。この亀頭が見えるまでむくことができない場合を包茎^{しんせいほうけい}(真性包茎)といいます。乳児期はほとんど全員包茎で、さらに生理的に亀頭と包皮がくっついていて(癒着^{ゆちゃく})はがれませんが、年齢とともに自然に癒着はがれ、包皮も柔らかく伸びて、包皮の翻転が容易となり、思春期に二次性徴がおこると亀頭や陰茎が急激に大きくなり、多くの場合、翻転しなくても亀頭がでてくる、状態となります。

包皮は必要のない組織なのでしょうか?外国では文化的・宗教的理由で小さい時に包皮を切り取ってしまう(割礼^{かつれい})習慣のあるところもあります。しかし、包皮は小児期の過敏で傷つきやすい亀頭を保護する役目を持っていると考えられ、ま

た、包皮の内側は亀頭より知覚神経がはるかに豊富で二次性徴出現後の役割もあるといわれており、割礼の習慣のない日本においては、子供の時期に包茎の手術(全身麻酔が必要、手術の合併症、術後の形がほかの子と違う)をする必要があるのはごく限られた疾患の場合だけだと言われています。

包茎で不都合はないのでしょうか?よく問題となるのは、おチンチンの先が真っ赤になって腫れて痛くなる(亀頭包皮炎)、オシッコするとき包皮の先端が膨らんで包皮と亀頭の間にオシッコが溜まり、下着が汚れたり、包皮の先が赤くはれる、オシッコが変な方向に飛んで衣服や周りを汚してしまう、おチンチンが大きくなる(勃起)ときに痛がる、などの症状が出る場合があります。このような場合は、狭くなっている包皮にステロイド軟膏を塗ったり、手で毎日少しずつ包皮を広げていく方法があります。でも、この方法は、薬の副作用の問題や、むりに強く広げると包皮が裂けてかえって固く、狭くなってしまうこと、完全

に翻転できたとき、包皮を戻さずそのままにしておくと、包皮の狭い部分でおチンチンが締め付けられ、痛く、腫れあがってきたり、手術しないと腫れたまま元に戻らなくなったり、最悪の場合は、先が腐ってしまうという怖いこともあるので、小児外科や泌尿器科などの専門医に相談して詳しい説明や指導をうけてからにしましょう。

包茎は、思春期男性の悩みとなることも多いですが、専門医を含め様々な考え方があり、統一された対応はありません。

(小児外科 塚本 能英)

